

レインボーは～と通信

『富山市公募提案型協働事業』の紹介 vol.4

平成28年度、29年度の2年間、富山市と協力して公募提案型協働事業に取り組みました。今回は、その取り組みの目的や内容を紹介します。😊

公募提案型協働事業ってなに？

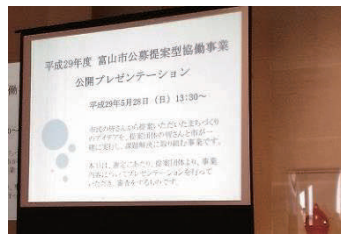
市民主体のまちづくりを推進するため、地域の様々な課題解決に向け、市民活動団体等の特性を活かした事業提案を公募し、提案団体が市と協働で取り組む事業です。

(富山市ホームページより)

事業採択までの流れ

応募→一次審査→二次審査(公開プレゼンテーション)→採択

事業名:学校における性的マイノリティ(LGBT)理解促進事業



公開プレゼンの様子
(場所:TOYAMAキラリ)

取り組みの背景

性的マイノリティ(LGBT)の人口比率を5%程度(20人に1人)とすると、クラスに1人から数人の割合となります。

性のあり方(性的指向や性自認など)に悩んだり、いじめや不登校を経験したり、自殺念慮を抱いたりする児童生徒も少なくありません。

本事業は、そのような子どもたちを励まし、居心地のよい学校環境を整えていくことを目的として取り組みました。

1. 教職員への啓発

●研修会への講師派遣

「養護教諭研修会」(H28) 養護教諭約100名
「人権教育推進に関する研修会」(H29) 教諭約420名



■講演の主な内容

- ・性の多様性について
- ・児童生徒の困難事例、経験談紹介
- ・子どもたちから相談された時に大切なこと

■受講後の感想紹介

LGBTや性の多様性を学べた

研修の機会を増やしてほしい

悩む児童生徒が「いる」という認識を持ちたい

相談される先生でありたい

性的指向や性自認などに悩んでいる児童生徒が安心して学べる学校環境を整えるために、まず教職員の皆さんに知ってもらうことが大切です。

●教職員向けパンフレットの作成と配布

「学校において多様な性を伝えていくために」(H28)
「安心して学べる学校環境を整えるために」(H29)
⇒市内の公立小中学校全93校へ配布

■H29年度パンフレットの主な内容

- ・「知る」 性の多様性について／当事者の声紹介
- ・「変える」 学校の環境を整えるためにできること
- ・「伝える」 性の多様性を伝えていくには

H29年度は公益財団法人人権教育啓発推進センターの冊子「性的多様性を考える」も合わせて配布しました。

2. 子どもたちを励ます

●ポスターの作成と配布

H28年度版ポスター



H29年度版ポスター



互いの違いを尊重しようというポスターを掲示することで、児童生徒や教職員、保護者への性の多様性の啓発になります。



市役所内にも掲示していただきました。

性的指向や性自認などで悩む子どもたちを励まし、学校の環境を整えるために、ポスターやパンフレット、ステッカーを作成し、市内の公立小中学校全93校へ配布しました。

取り組みの詳しい内容は、団体のホームページ（下記アドレス）をご覧ください★

3. 学校の環境を整える

●パンフレットやステッカーの作成と配布

相談してね
ステッカー



市内の公立
小中学校へ
配布しました

校内にステッカーを貼っていただくことで、悩んでいる児童生徒が相談しやすい環境になればと思います。

お薦め図書
紹介



図書室や保健室などに性の多様性を伝える図書が置いてあると、児童生徒への情報源になるほか、肯定的なメッセージを伝えることができます。

～今後の課題として考えられること～

- ◆自治体による率先した人権教育、啓発活動の推進
- ◆教職員への研修機会を継続して設けること
- ◆児童生徒や保護者へ伝えていくこと

今後も取り組みが継続していくことを願っています。

このパンフレットは、平成29年度 富山市社会福祉活動助成金により作成しました。



誰もが自分らしく生きられる社会を目指して

発行 2018年 3月
製作 レインボーハート富山



<https://rhtoyama.wixsite.com/rainbowheart-toyama>

toyama.rheart@gmail.com

レインボーハート富山

